



# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ北海道



永田 泰浩 (ながた やすひろ)

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルートコーディネータ  
((一社)北海道開発技術センター 上席研究員)

1973年東京都生まれ。小学生時代に1年半過ごした北海道が忘れられず、大学から再び北海道へ。大学時代はラグビーに明け暮れる。卒業後は北海道内の気象会社に勤務。道路の吹雪、車道の路面凍結予測などの調査、研究、対策検討業務に従事。2011年度から現在の職場にて勤務。2012年度から、ルートコーディネータを務める傍ら、道路の吹雪障害や、つるつる路面での歩行者の自己転倒、そろばん路面の形成についての研究を継続している。

## 春 ~雪が融けたら、ゴミ拾い！花植え！夏の準備！

春になると冬の間、雪に紛れていたゴミが目立ち始める。釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイは、釧路市のたんちょう釧路空港から、鶴居村、標茶町、弟子屈町、別海町を抜けて、中標津町の根室中標津空港を結ぶのがメインルート。釧路湿原や阿寒湖、摩周湖、屈斜路湖、硫黄山、900草原、多和平、開陽台など、多くの観光地を結んでいる。観光客をはじめ訪れた皆さんに気持ちよくルートを走ってもらうため、地域の清掃活動や花を植える活動に積極的に参加している。

夏の準備も忘れない。釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの6つのシーニックカフェ、釧路開発建設部管内の7つの道の駅と2つの空港（たんちょう釧路空港、根室中標津空港）を結ぶ「くしろ・ねむろぐるっと！スタンプラリー」の準備を始める。最新の地域情報やドライブ情報と、釧路開発建設部が作成したヒヤリハットマップと表裏になっている「道東エンジョイマップ」も作成開始。ルートの美しい景観を楽しむ、シーニックカフェや道の駅で美味しいものを食べ、事故なく、安全に帰路についてももらいたい。また来年も行こうかな！と思ってもらえればさらに嬉しい。

## 夏 ~多くの人を訪れてくれる夏こそ、チャンス！

道の駅などで配布している道東エンジョイマップやスタンプラリーの台紙が、飛ぶように売れていく。ルートに最も多くの観光客が訪れる夏が来る。多くの人が余暇を楽しむこの時期こそ、訪れてくれた皆さんの声や評価を得られる機会。道の駅などでの利用者へのアンケート調査や道路沿いの除草状況の現地踏査など、地道な調査が今後のよりよいルートづくりへの礎となる。



摩周クリーンウォークに参加したルート関係者 (2015年6月)

夏の締めくくりは再びゴミ拾い活動。ルート上の駐車帯を中心に、地域と行政が協働でゴミを拾っていく。駐車帯や道路にゴミを捨てるのは本当にやめて欲しい。運転しているのは絶対大人。一緒に拾ってくれている子供たちの前に立たされた同じ大人の私たち…本当に恥ずかしいんです。

## 秋 ~木の実からコツコツと。やがて大きな森になれ！

秋の日差しの中で、何人かの大人が懸命に下草を刈っている。秋といえば、年に一度の「そらの森植樹祭」。国道241号沿いの弟子屈飛行場跡地で、森林再生を目指した森づくりを行っている。参加者は年々増加し、今年度の参加者は70名を上回った。苗木を植えること自体はそれほど難しくはないが、植えた苗木を森にするためには、育成活動をどうやって継続していくかが重要。ドングリやクルミを弟子屈町内から拾い集め、木の実を植えて、苗木づくりを並行して行っているほか、オリジナルエコバッグ、オリジナルタンブラーをルート内のシーニックカフェで販売して、売上費の一部を、そらの森の苗木代や育成費にする活動を行っている。

## 冬 ~心温まる輪を広げたいという“想い”

冬と春に行われるシーニックカフェミーティングでは、必ずA4の紙に書かれた「シーニックカフェの役割と目的」という文章を参加者で読み上げる。文章の最後にあるのが、「シーニックカフェの想い」。「この地域が大好きになる、とっておきの情報をお伝えします」、「ゆったりと過ごせる空間でお迎えします」など、ルート全体の“想い”とも通じている。

来たる次年度の春に向けて、初心に立ち返り、“想い”を胸に再び進み始める。



子供たちも大活躍の駐車帯清掃（2015年8月）

## これからの釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ代表の桐木さんがよく話される「無理はせず、身の丈にあった活動を長く続けていくことが大事」という言葉が、私は大好きです。

巨大な打ち上げ花火をドカン！という花火大会は、インパクトもあり、花火を見ている人を感動させられる。うちのルートは、火のついた花火を持つ子が、となりの火のついていない子に火をあけていくような花火。小さくても、お互いが協力して、花火を見る人以上に、花火をやっている人たちが楽しい花火大会。そういう感じで、地道に長く活動を続けられたらいいなと思っています。



中標津ミルクロード



美幌峠



硫黄山への道路

ルート内には美しい道が多い



みんなで楽しく森づくりを続けています（2015年10月）